HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

企画展

サムライたちの物語

新収蔵刀剣と名品で紡ぐ時の声と美



源頼政
Minamoto no Yorimasa

『源頼政像』（部分）　江戸時代



刀
備中国三村修理進源朝臣元親
冬広作



源頼光
Minamoto no Yorimitsu

『源頼光像』（部分）　江戸時代



刀 戸川達富
武蔵太郎安国作



楠木正成
Kusunoki Masashige

『楠木正成未来記披見図』（部分）　狩野永真筆　江戸時代



短刀
石川左衛門尉幸久作



池田恒興
Ikeda Tsuneoki

『池田恒興像』（部分）　江戸時代

令和8年
4/18（土）→6/14（日）

〈開館時間〉 10時～17時（入館受付は16時30分まで）
〈休 館 日〉 月曜日休館（祝日等休日の場合は翌日）
※GW期間の5月3日～6日は開館、5月7日は休館
〈入 館 料〉 一般600円　中学生以下無料
団体（20名様以上）、障がい者・療育手帳の提示 100円引
友の会会員、学校メンバーズ加入団体、障がい者の介助者1名 無料

〈主催〉林原美術館　〈後援〉岡山県郷土文化財団　山陽新聞社　RSK山陽放送

林原美術館
HAYASHIBARA MUSEUM OF ART



『奥州後三年記絵巻』　雁行の乱れ（部分）　狩野自得筆　江戸時代

当館では2023年から2025年にかけて新たに20口の刀剣類を収蔵いたしました。この度これらの調査を終え、本展にて新収蔵刀剣を初公開いたします。「刀 銘 備中国三村修理進源朝臣元親 冬広作」は、備中国の戦国武将・三村元親が若狭国出身の刀鍛冶・冬広に作らせた刀剣です。他に備中国守護代を務め、備中国高山城（幸山城）主とされる石川幸久自らが製作した刀剣など、戦国武将をはじめとしたサムライたちと刀鍛冶との関係を物語る貴重な作品群です。



さらに国宝「太刀 銘 吉房」を筆頭に各一文字派（福岡・鎌倉・吉岡・岩戸）を展覧、他に注文主の名前を刻した為打ちの刀や大名家伝来品、後鳥羽上皇が名工を呼び寄せ一緒に製作したとされる菊御作の太刀、鎌倉幕府が全国から斬味の良さを基準に報告させた注進物、米国コンプトンコレクションや英国ウィンザー公旧蔵の「太刀 銘 信房作」といった海外から戻ってきた刀剣など名刀たちのサイドストーリーをご紹介いたします。

同時に岡山藩主池田家に伝来し、『孫子』の兵法を学び戦で実践した源義家の「雁行の乱れ」の場面を収録した『奥州後三年記絵巻』や、サムライの悲哀を描いた『平家物語』、サムライの忠義を数多く記した『太平記』、幕末の神戸事件の収拾を図るために切腹した瀧善三郎の辞世歌など、サムライの魂が脈打つ書画も展覧いたします。

これらの作品が語りかける物語に耳を傾けることで、サムライたちが生きた時代の息吹と、そこに込められた美の再発見になれば幸いです。

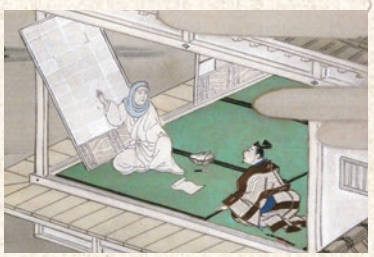




重要文化財
太刀（菊紋）菊御作
鎌倉時代



『平家物語絵巻』巻第七下　忠度都落（部分）　江戸時代



『松下禅尼倹約守図』（部分）　長谷川常雄筆　江戸時代

各種イベント

◈歴史ミニトーク「新収蔵刀剣のなぞ」

企画展「サムライたちの物語」で初公開している新収蔵刀剣は歴史的にとてもおもしろい刀剣です。作品を解説しつつ、為打ち（注文打ち）から戦国武将や大名などのサムライと刀鍛冶の関係をお話しいたします。

日　時：令和8年5月24日（日）13時30分～15時
講　師：植野哲也（当館主任学芸員）
場　所：林原美術館敷地内　ナガセヴィータ・ギャラリー
定　員：30名（Webにて要予約）　　参加費：無料（入館料別途）

◈お茶会「晩春の茶会」

毎年ご好評をいただいております「お茶会」のご案内です。木々が芽吹き、日に日に緑が濃くなる頃、季節の道具組で皆様をお迎えします。茶室「竹明庵」にて行く春をお楽しみください。

日　時：令和8年4月19日（日）10時10分～16時35分
　　（お茶席最終受付は15時35分）
亭　主：石田宗祥 氏（速水流）
場　所：林原美術館敷地内　茶室「竹明庵」
定　員：60名（要予約）　　参加費：2,000円（入館料別途）

◈書道パフォーマンス



大きな紙に力強く文字を書く書道パフォーマンス。岡山芳泉高校の美術部の皆さんが描いた絵の上に、書道部の皆さんが迫力ある「ことば」を大書します。高校生の瑞々しい感性で表現された作品と、力強く優雅なパフォーマンスをお楽しみいただきます。

日　時：令和8年5月3日（日）11時～
出　演：岡山県立岡山芳泉高等学校　書道部・美術部
場　所：林原美術館内ロビー　　参加費：無料（入館料別途）

◈特別企画「和菓子とお抹茶の日（その1）」

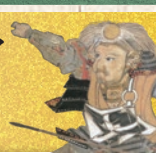
本年度の特別企画として、明治21年（1888）創業の老舗の和菓子屋「松涛園」（岡山県倉敷市玉島）にご協力いただき、展覧会にちなんだ特別な和菓子をお抹茶とともに提供いたします。

日　時：令和8年6月13日（土）10時～14時
場　所：林原美術館内ロビー　　定　員：20名（Webにて要予約）
お茶菓子代：700円（入館料別途）

※企画展ごとに開催する予定です。その都度変わる創意あふれる甘味をご賞味ください。※14時までにご連絡がなく、来館のない場合はキャンセル扱いとなります。

◈学芸員によるギャラリートーク





会期中の毎週土曜日 14時～
（予約不要・参加無料・入館料別途）

次回予告

企画展「こだわり日本美術」　令和8年6月27日（土）～8月30日（日）

職人や使う人などの、さまざまな「こだわり」を切り口に、ジャンルを問わず館蔵の美術品をお楽しみいただきます。キャプションは「やさしい日本語」で表記します。

林原美術館
HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823　岡山市北区丸の内2-7-15
TEL（086）223-1733　FAX（086）226-3089
https://www.hayashibara-museumofart.jp/
＊車椅子対応の設備あります。
林原美術館Web

【臨時休館について】「暴風警報」「特別警報」が発令されている場合は、臨時休館とさせていただきます。詳細はWebに掲示しておりますのでご覧ください。

交　通

◉JR岡山駅から徒歩25分
◉路面電車［東山行］
　県庁通り下車 徒歩7分
◉岡電バス［岡電高屋行］
　県庁前下車 徒歩3分
◉宇野バス［瀬戸駅前行・四御神行］
　県庁前下車 徒歩3分
◉循環バスめぐりん［県庁医大線］
　県庁前下車 徒歩3分

